

～ガバナーメッセージ

## 「最もよく奉仕する者 最も多く報いられる」

国際ロータリー第 2590 地区  
ガバナー 湯川 孝 則



あけましておめでとうございます。皆様、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年は、公式訪問や地区大会で大変お世話になりました。誠にありがとうございました。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1月は、職業奉仕月間です。これまで10月が職業奉仕月間として指定されておりましたが、2014年10月の理事会で1月に変更になりました。そこで、今回は、職業奉仕について考えてみたいと思います。

職業奉仕について規定しているところは、手続要覧の「ロータリーの目的」の第2項です。ここに、次のとおり記載されています。

### ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

つまり、ロータリアンは、次に掲げる考え方を身につけ、それを日々実践することが求められているということです。

- 一 職業上の高い倫理感を持ち続けること。
- 一 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること。
- 一 高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のために役立てること。

それでは、職業奉仕をどのように実践したらよいのでしょうか。「職業奉仕月間」中に推奨される活動には、優良従業員表彰や職業奉仕フォーラムの開催、空席の職業分類に会員を入会させる会員増強などがあります。各クラブで創意工夫して実践しておられると思いますが、職業奉仕の理念の実践に役立つものとして、皆さんが良くご存じの四つのテストを例会で唱和することも有用だと思います。

### 四つのテスト (THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

四つのテストは、1932年にロータリアンのハーバート J. テイラー (後の国際ロータリー会長) により考案された (ロータリー章典 33.070.)

また、職業奉仕の根幹をなす標語として、第41回国際ロータリー年次大会 (デトロイト) で承認された言葉も忘れてはなりません。それは、アーサー F. シェルドンによる「**最もよく奉仕する者、最も多く報いられる**」という言葉です。企業の不適切事案の発生や虚偽表示問題が取りざたされる昨今、今こそ、職業奉仕に関するロータリー哲学をロータリアン一人ひとりが実践しなければならないのだと思います。